2018年3月期（第42期）

決算説明会資料

2018年6月12日
株式会社フォーカスシステムズ
（証券コード：4662）

Focus Systems

目次

ごあいさつ

1 2018/3期（第42期）決算について P.3

2 2019/3期（第43期）業績予想 P.20

3 ＜ご参考＞トピックス P.22

4 ＜ご参考＞当社の概要 P.31

1　2018/3期（第42期）決算について

Focus Systems

決算

- ◆ 増収（P.6）、増益（P.7）、増配（P.17）
- ◆ 第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の発行(P.25)
- ◆ 純有利子負債の削減が進み、実質無借金を達成（P.16）

事業

- ◆ パートナーシップの拡大
  - ・日本マイクロソフトとサイバー犯罪の証拠データ分析の高速処理化に向け連携（P.23）
  - ・名古屋工業大学と指向性アンテナの共同研究（P.27）
  - ・ドローン操縦士協会とアライアンスパートナー契約を締結（P.29）
  - ・JPPVRと共同出資による新会社「VRaiB」を設立（P.30）

Focus Systems

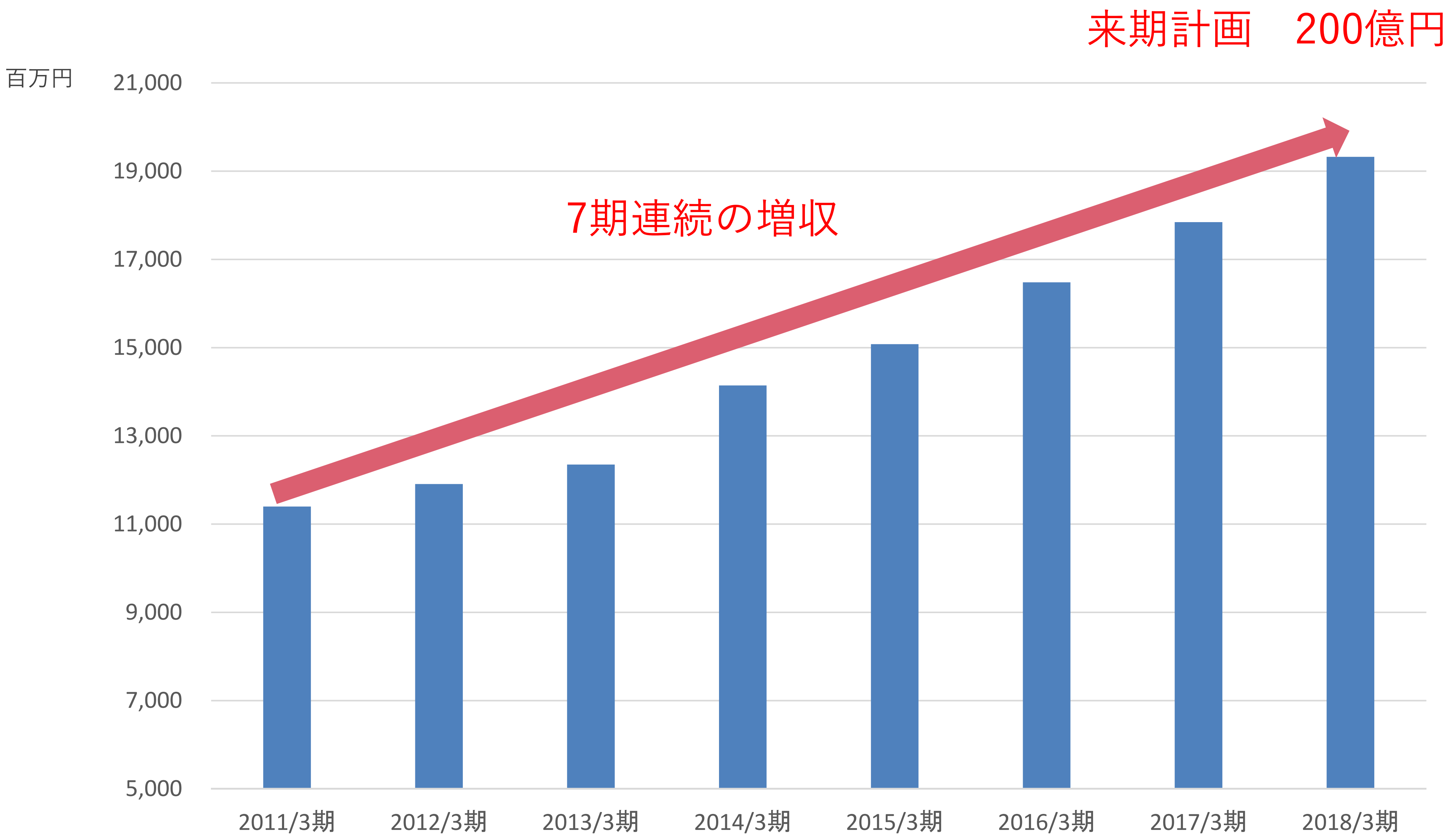
◆ 1977年創業以来、最高の売上高

◆ 前期の減益を反省し、徹底した改善対策で今期は利益が大幅回復

百万円

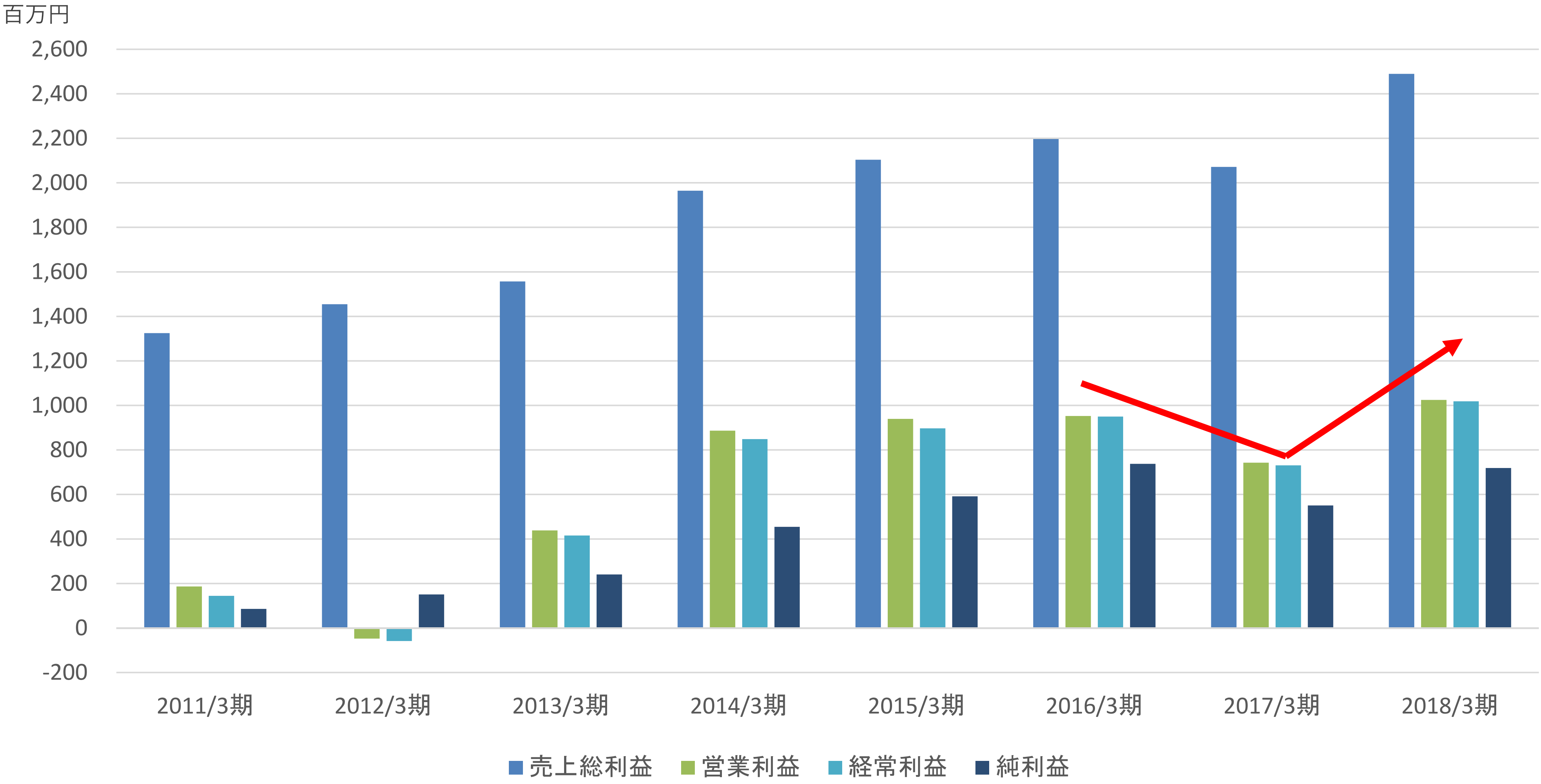
	2017/3期 実績	2018/3期 計画	2018/3期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	17,846	18,400	19,327	1,480	8.3%	927	5.0%
営業利益	743	850	1,025	282	37.9%	175	20.7%
経常利益	731	820	1,019	288	39.4%	199	24.3%
純利益	551	520	719	167	30.4%	199	38.3%

売上高推移



来期計画　200億円
百万円
21,000
19,000
17,000
15,000
13,000
11,000
9,000
7,000
5,000
7期連続の増収
2011/3期
2012/3期
2013/3期
2014/3期
2015/3期
2016/3期
2017/3期
2018/3期

- 利益は全項目においてＶ字回復
- 緩やかながらも収益性は向上。更なる向上に向け、プロジェクト毎に対策を強化中

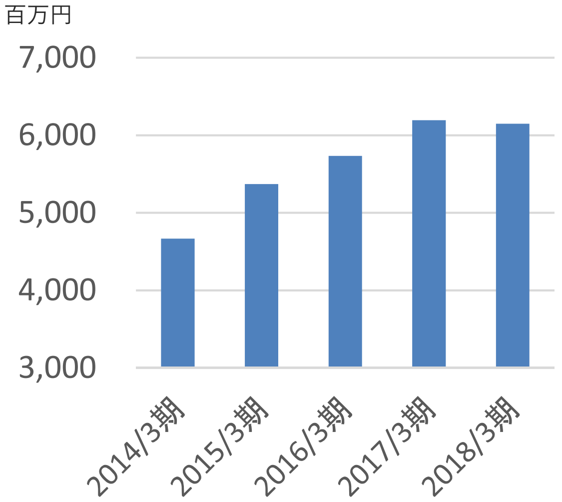


公共関連事業

最終ユーザーは官公庁および地方自治体。
提案から設計、製造、試験、システム稼働後の保守・運用まで行う。
財務システム、貿易システム、航空管制システム、福祉介護システム、社会保険システム等
さまざまなシーンで社会を支えている。

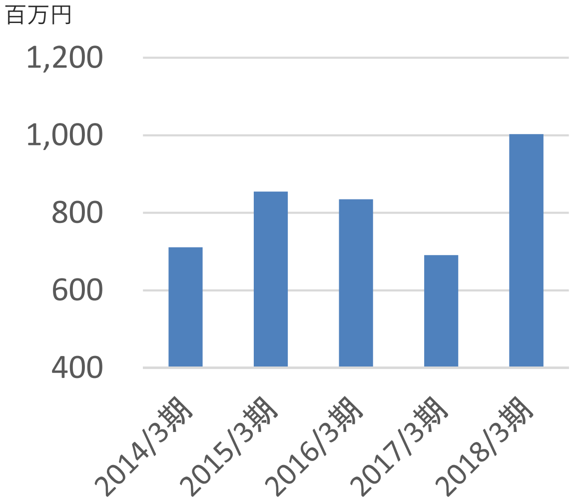
売上高

前年度比
0.7%↓



セグメント利益

前年度比
45.2%↑



- ◆ 売上構成比31.8%（前年度34.7%）
- ◆ 売上高は微減ながら、セグメント利益は減益となった前年度より大幅回復
- ◆ 2017/3期に発生した、プロジェクトの進捗遅れによる収益悪化の反省から再発防止を徹底受注判定会議を厳格化したことが奏功

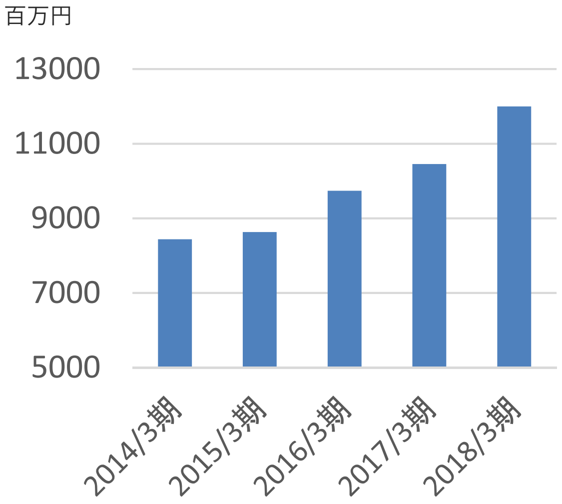
Focus Systems

民間関連事業

最終ユーザーは主に一般民間企業。
日本IBM様を始めとし、沖電気様、ソフトバンク様、TISインテック様などとのパートナーシップの下、さまざまな民間企業向けシステムの開発から運用保守まで行っている。
業務アプリケーション、通信制御システム、IoT、AIなど、係るシステムは多岐にわたる。

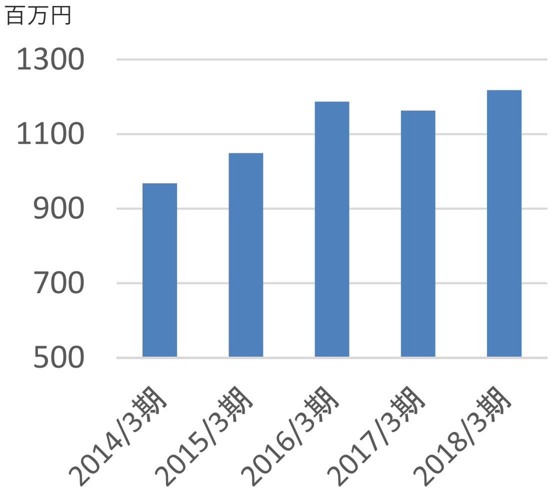
売上高

前年度比
14.8%↑



セグメント利益

前年度比
4.7%↑



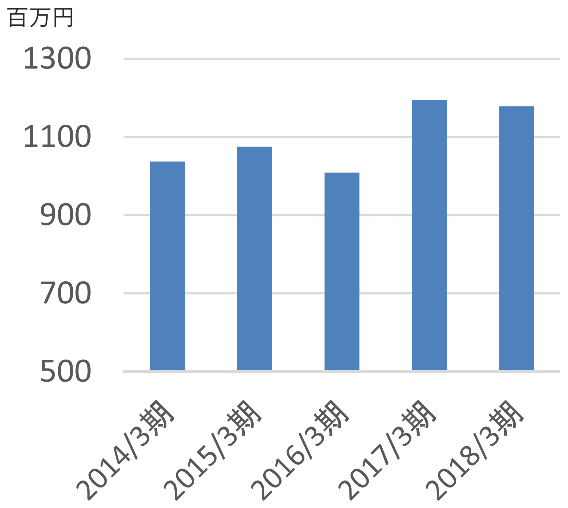
- ◆ 売上構成比62.1％（前年度58.6％）
- ◆ 主要取引先からのインフラ構築・運用サービスが成長
- ◆ 大阪・名古屋を拠点とした地方において、順調な案件確保により業績拡大

セキュリティ機器関連事業

提供先は官民問わず、広い顧客基盤を持つ。
セキュリティ事故を防ぐための防御対策（暗号技術・電子透かし）から、
事後対応（デジタルフォレンジック・サイバーセキュリティ）までカバーし、さまざまなニーズに対応。
海外にも多くのパートナーを持ち、成長技術の習得およびスペシャリストの育成に努めている。

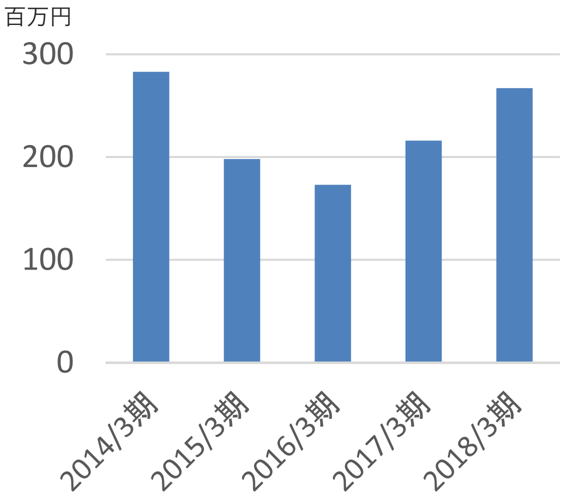
売上高

前年度比 1.4% ↓



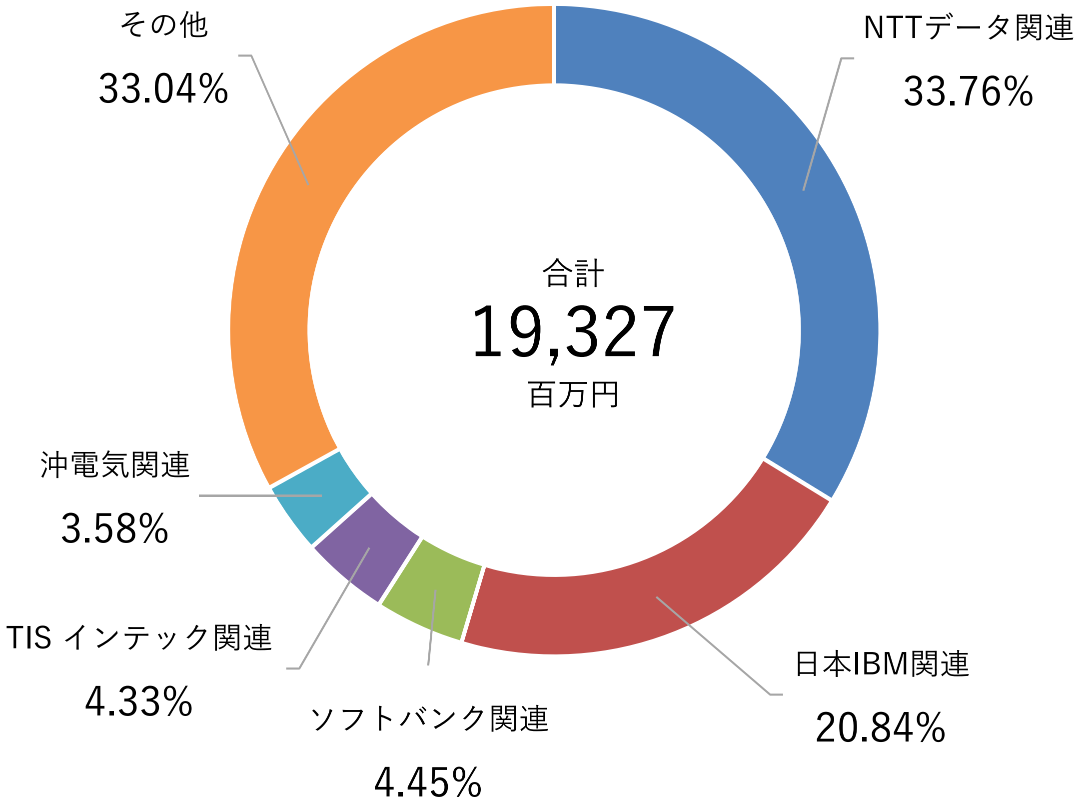
セグメント利益

前年度比 23.8% ↑



- ◆ 売上構成比6.1％（前年度6.7％）
- ◆ 2014/3期～2016/3期にかけてセグメント利益が落ち込むも、
フォレンジック関連の成長が大きく影響し、セグメント利益は2年連続で回復傾向に
- ◆ 官公庁案件も順調（サイバーセキュリティ製品の大型受注、トレーニング受注増加）

主要顧客グループ別売上高構成比



顧客名	2018/3期 売上高（百万円）
NTTデータ関連	6,525
日本IBM関連	4,028
ソフトバンク関連	860
TIS インテック関連	837
沖電気関連	690
その他	6,385
合計	19,327

- ◆ ソフトバンク関連からの受注が伸び、当事業年度は売上高が３番目に多い顧客に
- ◆ ＮＴＴデータおよび関連企業への売上高は微減
  その他上位4社関連企業への売上高は、全体的に増加傾向

貸借対照表

Focus Systems

百万円

	2016/3期	2017/3期	2018/3期
（資産の部）			
流動資産	7.597	7,881	9,969
固定資産	7,339	6,685	7,061
有形固定資産	3,473	3,525	3,506
無形固定資産	234	208	151
投資その他の資産	3,631	2,951	3,403
資産合計	14,936	14,567	17,030
（負債の部）			
流動負債	4,064	3,786	4,459
固定負債	3,456	3,521	3,370
負債合計	7,520	7,308	7,829
（純資産の部）			
資本金	2,905	2,905	2,905
資本剰余金	1,468	1,468	2,138
利益剰余金	1,739	2,069	2,615
自己株式	△706	△706	△359
評価・換算差額等	2,009	1,522	1,898
新株予約権	―	―	2
純資産合計	7,415	7,258	9,201
負債純資産合計	14,936	14,567	17,030

前事業年度末に比較し2,463百万円増加
（主な要因）
・現金及び預金の増加　1,248百万円
・売掛金の増加　703百万円
・投資有価証券の増加　542百万円

前事業年度末に比較し521百万円増加
（主な要因）
・繰延税金負債の増加　201百万円
・未払法人税等の増加　170百万円
・買掛金の増加　167百万円

前事業年度末に比較し1,942百万円増加
（主な要因）
・その他資本剰余金の増加670百万円
・繰越利益剰余金の増加546百万円
・その他有価証券評価差額金の増加
376百万円

損益計算書

Focus Systems

百万円

	2016/3期	2017/3期	2018/3期
売上高	16,482	17,846	19,327
売上原価	14,285	15,774	16,836
売上総利益	2,197	2,072	2,490
販売費及び一般管理費	1,243	1,328	1,465
営業利益	953	743	1,025
営業外収益	69	47	50
営業外費用	72	59	56
経常利益	950	731	1,019
特別利益	235	37	58
特別損失	1	–	8
税引前当期純利益	1,184	768	1,070
法人税等	445	216	350
当期純利益	738	551	719

前年度に比べ1,480百万円増加
・公共関連事業が45百万円の減少
・民間関連事業が1,542百万円の増加
・ｾｷｭﾘﾃｨ機器関連事業が17百万円の減少

売上総利益が前年度比20％増と大幅改善
・公共関連事業が受注判定会議の厳格化により312百万円の増益（前年度比45.2%増）
・情報セキュリティ機器関連事業のデジタルフォレンジック分野において、収益性が高いビジネスモデルの拡大が影響し、51百万円の増益（前年度比23.8%増）

前年度に比べ167百万円の増加

Focus Systems

◆ 新株予約権の行使による自己株式の有効活用化により、株主資本が増加

千円

	株主資本							評価・換算差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計						
当期首残高	2,905,422	749,999	718,471	1,468,471	2,069,354	△706,490	5,736,756	1,522,161	-	7,258,918
当期変動額										
剰余金の配当					△173,082		△173,082			△173,082
当期純利益					719,243		719,243			719,243
自己株式の処分			670,497	670,497		346,554	1,017,051			1,017,051
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								376,397	2,700	379,097
当期変動額合計	-	-	670,497	670,497	546,160	346,554	1,563,212	376,397	2,700	1,942,309
当期末残高	2,905,422	749,999	1,388,968	2,138,968	2,615,515	△359,936	7,299,969	1,898,558	2,700	9,201,228

キャッシュ・フロー

Focus Systems

百万円

	2016/3期	2017/3期	2018/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	490	641
投資活動によるキャッシュ・フロー	293	△62	49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512	88	544
現金および現金同等物の増減額	△176	516	1,236
現金および現金同等物の期首残高	3,106	2,930	3,447
現金および現金同等物の期末残高	2,930	3,447	4,683

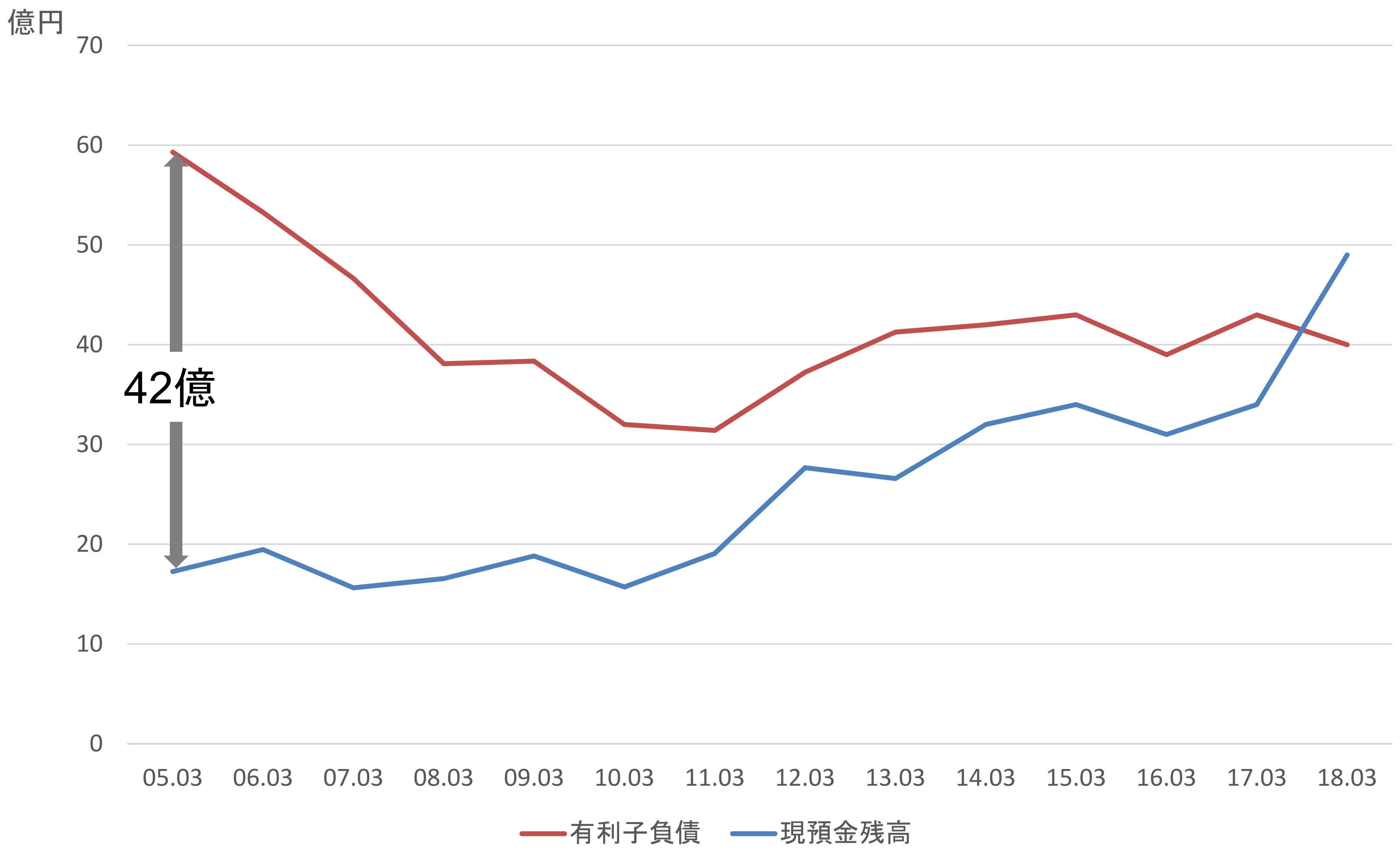
事業規模の拡大及び利益率の改善により、前年度末に比較し151百万円増加

有利子負債の返済が進むが、新株予約権の行使による自己株式の処分による収入が大幅に超過した結果、
前年度末に比較し456百万円増加

前年度末に比較し1,236百万円増加
それにより、実質無借金を実現

Focus Systems

◆ 13年前には42億円あった純有利子負債の削減が進み、実質無借金に

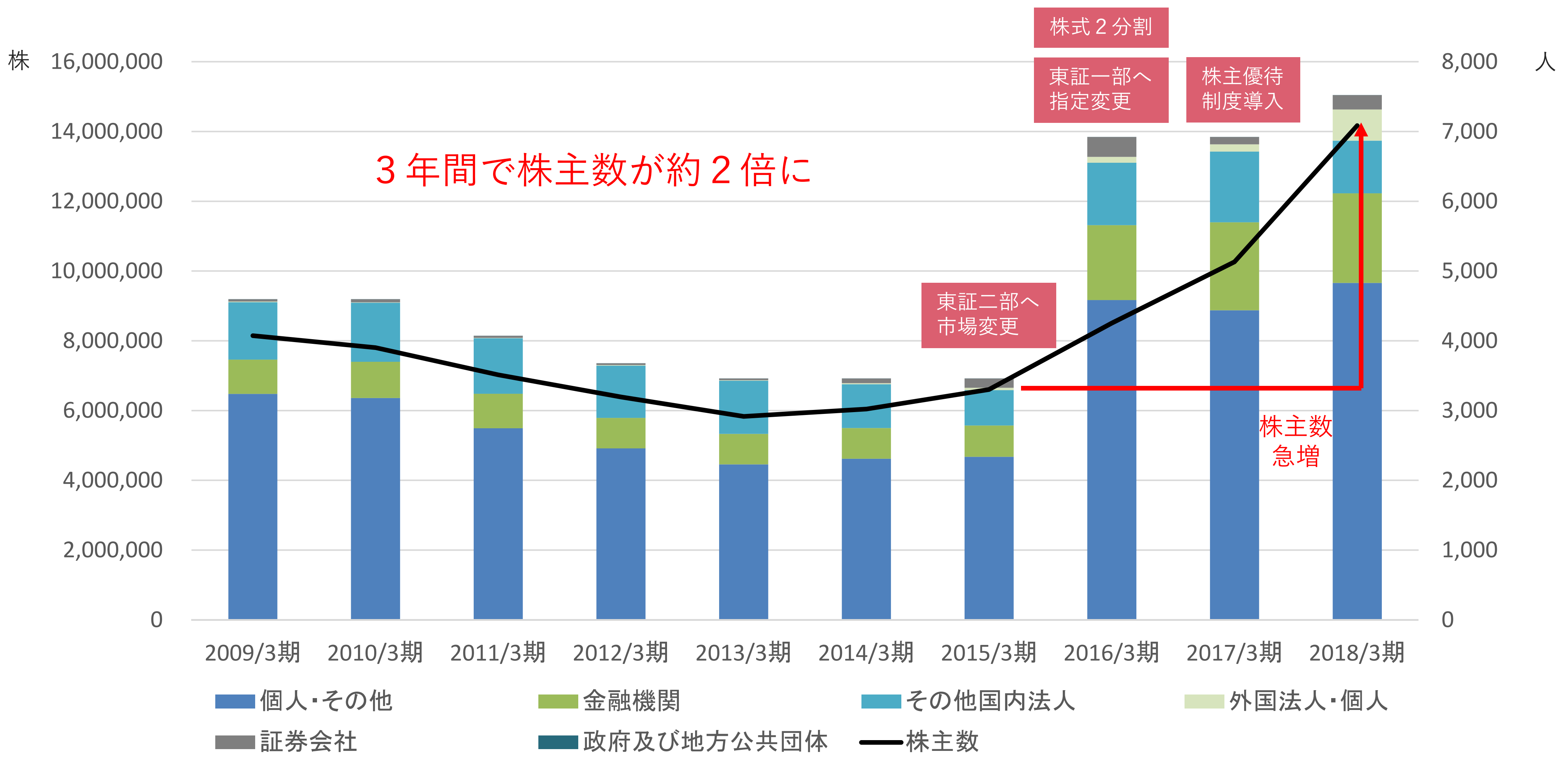


株価・配当の推移

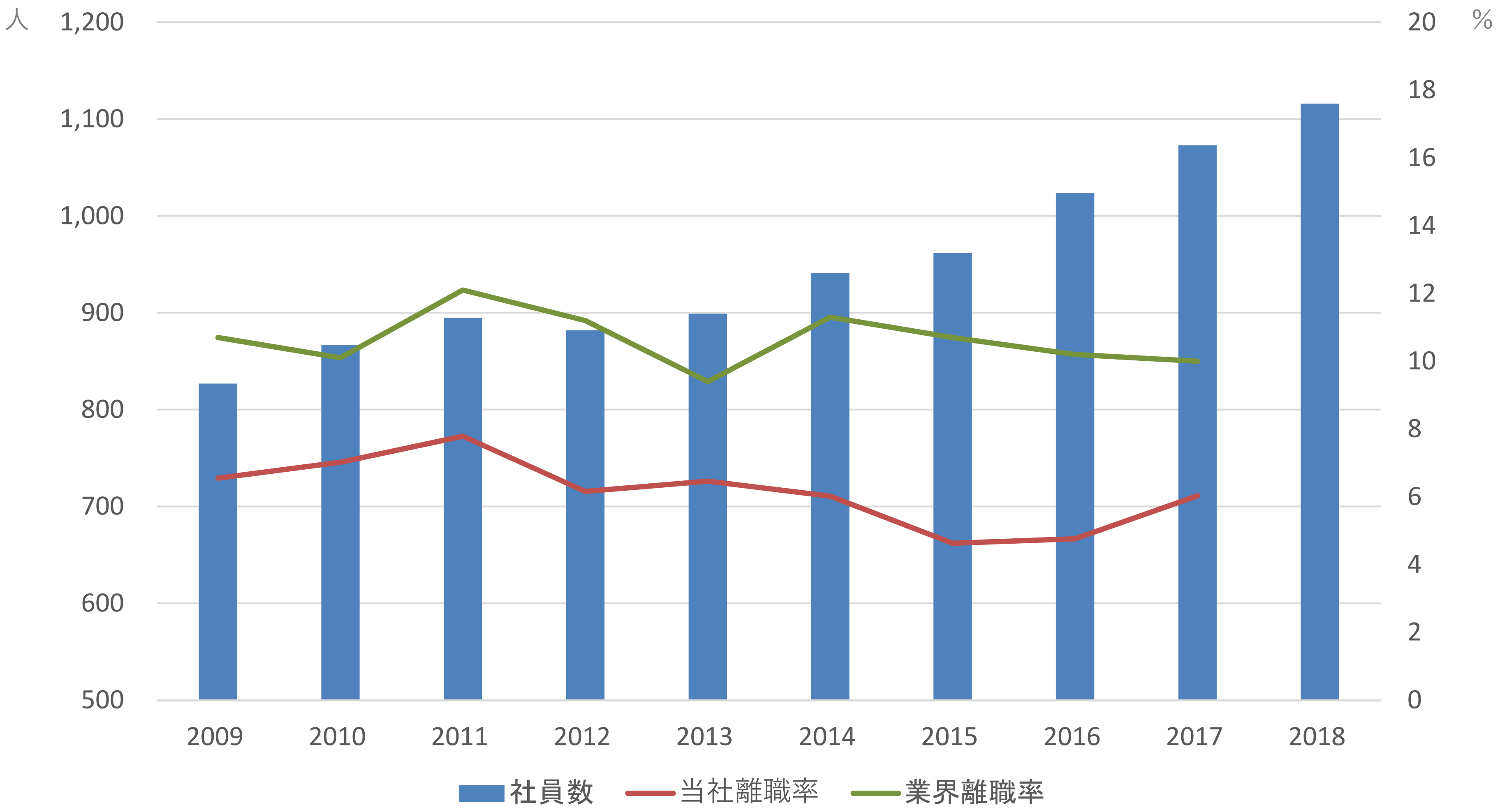
	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
一株あたり当期純利益	17.02円	32.91円	42.81円	53.36円	39.83円	51.21円
一株あたり配当金	7.5円	10.0円	12.5円	16.0円	12.5円	16.0円
配当性向	44.1	30.4	29.3	30.0	31.4	31.2

※ 2015年10月1日を効力発生日として、普通株式１株を２株に分割する株式分割を行いました。
それ以前につきましては、株式分割後の数値で算定しております。

株主構成および各所有株式数



- ◆ 2016年に社員数1,000人を突破。その後も年々増加傾向
- ◆ 人の出入りが激しいＩＴ業界において、離職率は常に業界平均以下



※業界離職率は厚生労働省発表「雇用動向調査結果の概要」を参考にしております。2018年の離職率は未発表のため、掲載しておりません。

2　2019/3期（第43期）業績予想

Focus Systems

Focus Systems

◆ 人的投資、新製品・サービスの開発、M&A及び資本・業務提携など業容拡大への布石を打ち、取り組んでいく

百万円

	2018/3期実績	2019/3期予想	前期比
売上高	19,327	20,000	3.5%
営業利益	1,025	1,080	5.3%
経常利益	1,019	1,060	4.0%
当期純利益	719	700	△2.7%

当事業年度は、役員退任に合わせ、保険の解約等により、58百万円の特別利益が発生
来期は特別利益の見込みなし

円

	2018/3期実績	2019/3期予想
1株当たり年間配当金	16.00	15.00
配当性向	31.2%	32.2%

配当性向は向上

12.00円予想からの増配

3　＜ご参考＞トピックス

2017
6/1

日本マイクロソフトと連携
サイバー犯罪の証拠データ分析の高速処理化

日本
マイクロソフト
（Azure)

×

フォーカス
システムズ
(Forensic)

＝

サイバーフォレンジックソリューション
サイフォクラウド

- サイバー犯罪の証拠データの分析及び鑑識作業のさらなる高速処理化に向けて連携
- 全国の警察機関、並びに法執行機関に提供

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20170601.pdf

2017
6/26

AR（拡張現実）システムの提供を開始
当社ビーコンFCS1301とARグラスを統合

◆Bluetoothセンサーデバイスのビーコン（FCS1301）を連携したARシステムの提供を開始
◆ARグラスは、当社と2015年より連携し検証を重ねてきたセイコーエプソン株式会社様製

採用
実績

株式会社明電舎様の安全管理システム

ARグラスには内臓されたSDカードに動画が保存されています。ビーコン反応地点（危険な箇所や安全帯非着用や撮影禁止場所などの特別ルールがある場所）で再生し、新規入構者に危険個所や現場特有ルールを知らせます。
（※）株式会社明電舎様の 6 月 20 日プレスリリースより引用

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20170626.pdf

2017
11/28

新株予約権を発行（第三者割当による行使価額修正条項付）

- 第１回新株予約権　12,000個行使完了　⇒　約10億円の資金調達
- 第２回新株予約権　10,000個　未行使

企業としての成長と企業価値の増大を継続していくため、
既存３事業に続く第４の柱となる事業の立ち上げを図る

目的

- 人材確保・育成への投資
- 既存３事業を活かした新製品・新サービスの開発
- Ｍ＆Ａ及び資本・業務提携に必要な資金の調達

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20171128-1.pdf

Focus Systems

2017
12/18

世界で活躍するトップアスリートを採用（スキー・クロスカントリー / 滝沢こずえ）

- 国内外の大会において優れた成績を多く残している、成長が期待できる選手
- 2022年北京冬季オリンピック出場を目指して、社員一丸となって応援

年月	大会名	戦歴	
2017/2	2017 冬季アジア札幌大会	10kmﾌﾘｰ 5kmｸﾗｼｶﾙ ﾘﾚｰ4×5km 15kmﾌﾘｰ	4位 5位 優勝 4位
2017/12	第32回全日本学生チャンピオンスキー大会	5kmｸﾗｼｶﾙ	優勝
2018/1	ワンウェイ杯全日本クロスカントリーレース 2018 FIS Far East Cup	1.4km ｽﾌﾟﾘﾝﾄｸﾗｼｶﾙ	優勝
2018/2	第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会	5kmｸﾗｼｶﾙ	優勝
2018/3	第91回全日本学生スキー選手権大会	15kmｸﾗｼｶﾙ	優勝

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20171218.pdf

2018
1/11

名古屋工業大学と指向性アンテナの共同研究

- ◆ Bluetoothで利用可能な指向性アンテナ機構の共同研究
- ◆ 指向性アンテナ機構を搭載したBLE送信機（ビーコン）と受信機の開発

従来

一般的なスマートフォンやタブレット端末、ノートPCに搭載されているBluetoothアンテナは全方位からの電波を受信
→電波の発信源が一定の半径内のエリアにあることは判別できるが、位置を割り出すのは困難

目標

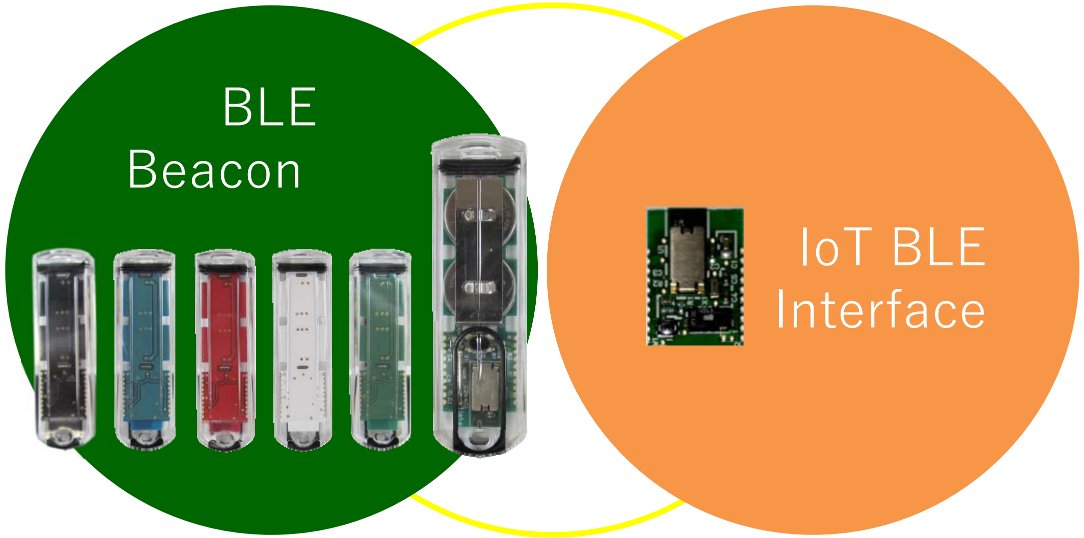
指向性アンテナ機構をビーコン（自社製品）と受信機に搭載することで、発信側は特定方向に電波を発信、受信側は特定方向からくる電波のみを受信
→発信側、受信側の電波方位が一致した位置を特定することで、より正確な位置推定を可能に。

一般的なビーコンが本来の電波エネルギーの１/３程度しか発信できない問題も、本共同研究によって、人体を含めたアンテナと送信回路とのインピーダンスマッチングを考慮した設計開発をし、一般的なビーコンに比べて３倍以上の通信距離を実現

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20180111.pdf

2018
2/9

防塵・防水認証ビーコン「timbe（ティムビー）」耐久性抜群のＢＬＥビーコンの販売開始



防塵・防水

振動センサ
（オプション）

小型・軽量

Bluetooth ®規格の薄型センサーデバイス

例えば…

- ◆　工事現場等、粉塵の多い場所における人材・資材の所在管理に
- ◆　振動センサで生活振動の有無を検出。孤独死の発覚遅延防止に

https://www.focus-s.com/focus-s/media/20180209.pdf

2018
5/21

ドローン操縦士協会と アライアンスパートナー契約を締結

- 日本における2021年度の国内ドローン市場は1,676億円ともいわれている
- ドローンの産業利用促進を目し、ドローンの実用化に向けた諸問題を解決

Focus Systems

公共システム開発実績	情報セキュリティ技術	IoT技術

ドローンの実用化に向けた諸問題を
フォーカスシステムズの技術を活かして解決

通信手段の安全性確保	収集データのプライバシー保護	画像処理

http://www.focus-s.com/focus-s/media/180521.pdf

2018
5/28

VR・AI技術の新たな活用分野を作る JPPVRと共同出資による新会社を設立

- ◆ JPPVRは、VRなどの最新テクノロジーを駆使した、eSportsやVR体験マシン、高画質VR映像配信のシステム開発の経験を有す
- ◆ 新会社では、様々な最先端技術を活用し、産業課題および社会課題を解決

http://www.focus-s.com/focus-s/media/180528.pdf

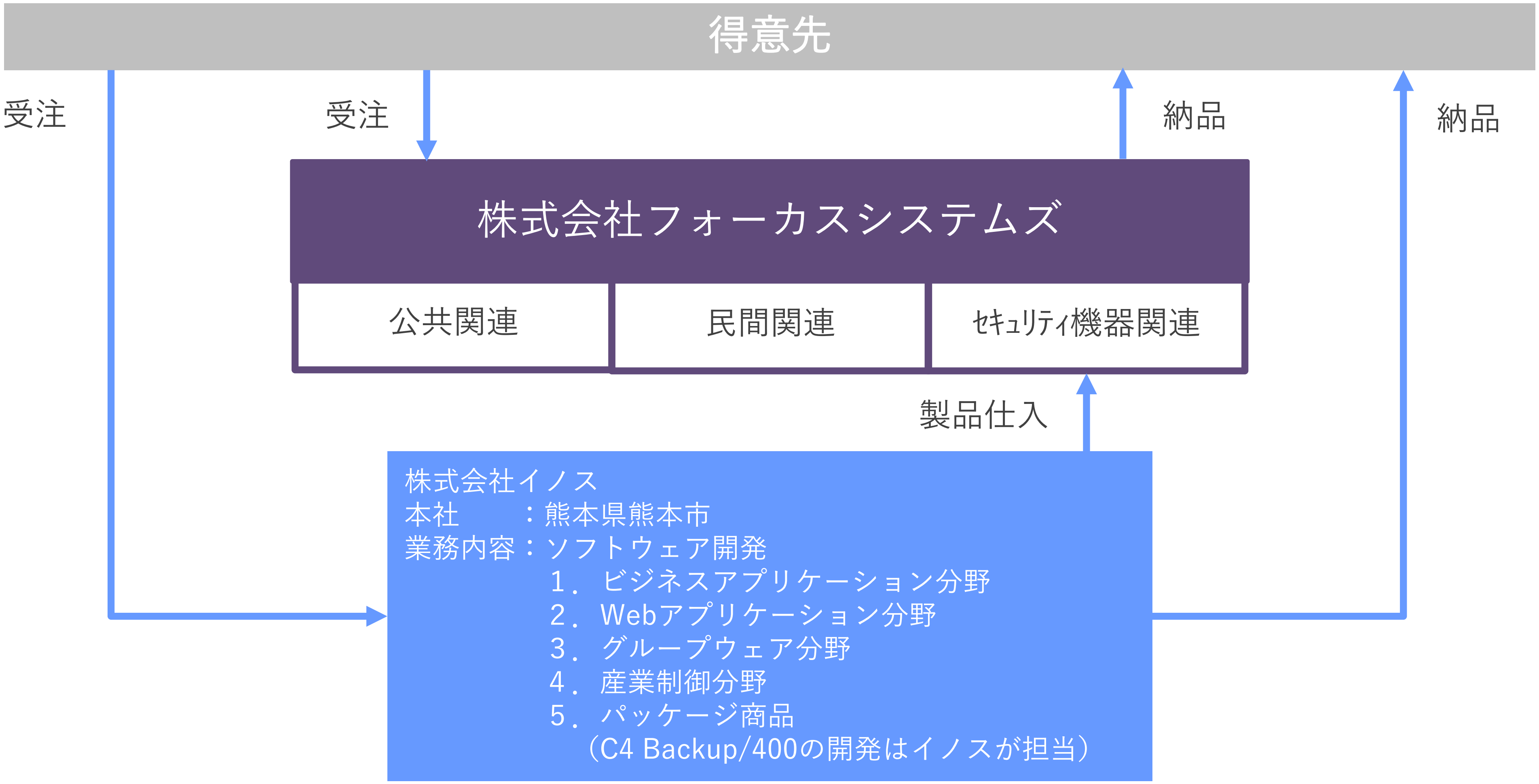
4 ＜ご参考＞当社の概要

ビジネス領域

Focus Systems

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

企業集団の状況



関連会社の状況（2018年3月）

社名	持分（%）	売上高（千円）	経常利益（千円）	純利益（千円）
株式会社イノス	20.0	1,045,179	26,483	4,272

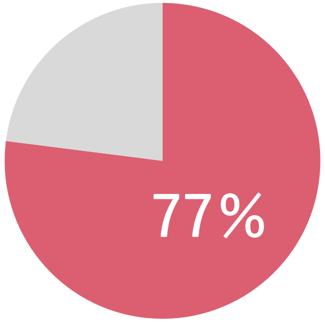
ワークライフバランス

① 短日・短時間勤務制度

・・・仕事と育児・介護の両立を支援する制度
短日（週３日）、短時間（１日５または６時間）が選択可能
※育児は小学校３年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可

くるみん（次世代育成支援）認定

短日・短時間勤務制度利用率



育児休業取得した社員の復職率

② ジョブリターン制度（再雇用制度）

・・・ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用OK

③ 定時退社日

・・・毎週水曜日を定時退社日に設定。所定外労働時間を削減

ダイバーシティ

① 職域創成

・・・障害者雇用の新たな職域創成を目指し、
水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。障害者雇用版広報紙も定期発行。

② 女性社員交流会

・・・若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。

女性が活躍しています！

えるぼし（女性活躍推進）

2016年4月に、女性活躍推進に関する取組みがみとめられ、最上位（３段階目）の認証を受ける

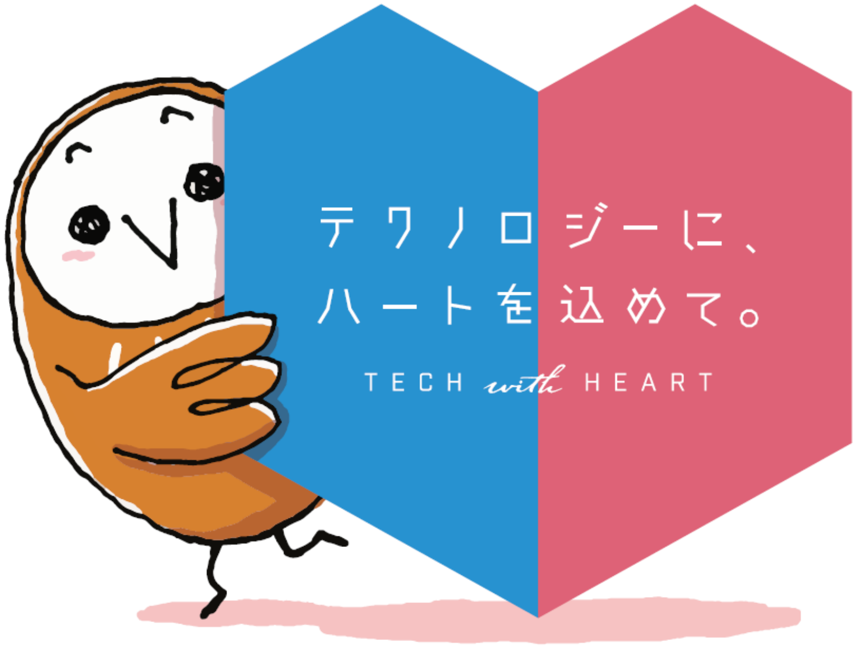
決算データ推移

Focus Systems

非連結通期	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31
売上高（千円）	12,353,938	14,146,242	15,081,738	16,482,792	17,846,896	19,327,344
営業利益（千円）	439,240	887,789	940,310	953,356	743,538	1,025,541
経常利益(千円)	416,311	849,751	897,205	950,301	731,331	1,019,522
当期純利益（千円）	241,130	455,647	592,742	738,841	551,571	719,243
資本金（千円）	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422
発行株式総数（千株）　＊	8,146	8,146	8,146	16,292	16,292	16,292
純資産額（千円）	4,868,962	5,029,600	6,769,094	7,415,953	7,258,918	9,201,228
総資産額（千円）	11,195,332	11,837,231	14,340,827	14,936,873	14,567,320	17,030,765
1株当たり純資産額（円）　＊	703.26	726.46	977.72	535.58	524.24	611,34
1株当たり配当額（円）　＊	15.00	20.00	25.00	16.00	12.50	16.00
1株当たり当期純利益（円）　＊	34.03	65.81	85.61	53.36	39.83	51,21
自己資本比率（%）	43.5	42.5	47.2	49.6	49.8	54.0
自己資本利益率（%）	4.4	9.2	10.0	10.4	7.5	8.7
配当性向（%）	44.1	30.4	29.3	30.0	31.4	31.2
従業員数（人）	899	941	962	1,024	1,073	1,116
株価　年度高値(円)　＊	679	858	1,210	888	634	1,350
株価　年度安値（円）　＊	552	442	540	340	412	503

※ 2015年10月1日を効力発生日として、普通株式１株を２株に分割する株式分割を行いました。
それ以前につきましては、株式分割後の数値で算定しております。

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2018年6月12日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える
不確実な要因に係る2018年6月12日現在における仮定を前提としております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。